

## 環境基本計画の進行管理

本市は、環境基本計画の進行管理にあたって、PDCAサイクル（Plan(計画) - Do(実施) - Check(点検・評価) - Action(改善)）により、環境像の実現に向けた継続的改善を図ります。

令和元(2019)年度の実績状況を把握し、環境審議会に報告したところ、以下のとおり助言をいただきました。

「令和2年度版いばらきの環境（令和元年度実績報告書）」を審議会にて検討いたしました。その結果として、審議会からの助言を以下に述べさせていただきます。

### ・環境指標とPDCAについて

環境指標は、平成27年3月に策定された茨木市環境基本計画に掲げている環境像の実現に向けて実施している施策や取組の成果を把握するための数値です。

市は、環境指標の状況を見て、それに応じた施策や取組の見直しを行い、第5次茨木市総合計画実施計画に反映し、市民・事業者にも今後取り組むべき方向性を示し、行動につなげていく必要があります。

### ・「目指すまちのすがた」について

取組方針ごとに掲載されている「目指すまちのすがた」は、各環境指標の状況から、そのすがたに近づいているものを記載しているように見えます。

市民・事業者は、市の環境の状況とこれからの方向性に関心があるため、環境の状況に対する市の考えと課題に対する市民・事業者の取るべき行動に関するキーワードの記載が必要と考えます。

### ・報告書の記載について

市はいばらきの環境を、市民・事業者にもわかりやすく伝えることが求められています。市の特徴をわかりやすくする手法の一つとして、近隣の自治体と比較す

る手法もあります。

このように、市民・事業者が市の環境をより深く理解できるように市は掲載内容を工夫することが必要です。

- 環境基本計画策定後の大規模プロジェクトによる影響について

安威川ダム建設など大きなプロジェクトが環境に与える影響は大きいですが、「いばらきの環境」では、これらの影響を把握しようとする努力が不十分であるように見受けられます。

市はこれらの大きなプロジェクトによる影響について調査し分析するとともに、特筆すべき影響があれば、「いばらきの環境」に記載し、市民・事業者に伝えることが必要です。

- SDGs について

SDGs（持続可能な開発目標）は、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す17のゴール・169のターゲットからなる国際目標であり、世界的に共通認識となっています。

「いばらきの環境」は、平成25(2013)年に策定された「茨木市環境基本計画」の基本施策の実施状況を示す報告書であるため、SDGsに関する記載がありません。

社会情勢の変化に対応するために、SDGsとの関わりについて触れる必要があります。

以上が環境審議会からの助言です。

市民・事業者・市の三者協働で環境行動を推進していくことを期待しています。

令和2年8月25日  
茨木市環境審議会  
会長 玉井 昌宏